



学習塾代表が青木小児童との顔合わせを兼ねて指導した

青木小 「筋道を立て 考える力を」

塾講師と児童顔合わせ

青木村の青木小学校で本年度、算数を教える学習塾講師が二十二日、全校児童約二百七十人との顔合わせを兼ねて算数を指導、保護者を対象に講演した。五月から月に一回、学年ごとに一

時限ずつ、考える力を伸ばすことを目的に授業を行う。
講師はさいたま市の学習塾「花まる学習会」代表の高浜正伸さん(47)。この日は体育館に全児童が集まり、ゲーム感

覚も取り入れた問題などを解いた。高浜さんは「ゲームで筋道を立てて考える力をつけましょう。どうしてその答えになったかをしっかり説明できる人になってほしい」と要望。児童たちは次々に手を挙げて発言した。

講演で高浜さんは、外で遊ぶことに熱中したり、家の手伝いをしたりして参加意識を持つことが、集中力や「試行錯誤力」などにつながると強調した。